

朝来市介護保険事業計画等審議会（第2回） 議事録

|        |                                                                                                                |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称  | 朝来市介護保険事業計画等審議会（第2回）                                                                                           |
| 開催日時   | 令和8年8月5日（水）13：30～15：00                                                                                         |
| 開催場所   | 朝来市役所 401・402 会議室                                                                                              |
| 会長名    | 馬庭 幸二                                                                                                          |
| 出席委員   | 馬庭 幸二、前田 恵利、上田 浩子、足立 崇宏、中山 隆人、湊本 巳紀代、<br>藤本 智也、藤本 昌代、西垣 佳生、田所 昌也                                               |
| 欠席委員   | 上谷 恵子、森 里加子、足立 陽子、白瀧 一樹、                                                                                       |
| アドバイザー | 中野 裕貴（長寿の郷）                                                                                                    |
| 事務局    | 大石 哲也（健康福祉部長）、馬袋 真理子（健康福祉部次長）、<br>足立 里江（地域包括支援センター所長）、岡口 徹也（高年福祉課長）、<br>山田 梨恵（高年福祉課課長補佐兼介護保険係長）、山根 麗奈（高年福祉課主査） |
| 傍聴者    | 竹本 孝大（営業担当）、井澤 茉莉（営業担当）、山川 浩一（研究員）                                                                             |

会議の経過、議題及び結果

1. 開会 …岡口課長

2. あいさつ …馬庭会長

（審議会の成立の確認）

委員出席 10 名で朝来市介護保険計画等審議会条例第 6 条第 2 項の規定により成立

（議事録署名人の指名）

馬庭会長、足立崇宏委員

3. 審議事項等

(1) 各種調査結果の報告と解説（資料 1・資料 4）…事務局より資料 1・資料 4 について説明

（委 員）次回調査に向けての検討事項についてはまとめてあるのか。

（事務局）ご意見いただいた項目について、次期調査に反映していきたいと考えている。

（委 員）方向性等まとまれば示していただきたいところ。

（委 員）居所変更実態調査、在宅生活改善調査とはこういった意味合いで実施されたのか。

（事務局）国が実施する調査で、居所変更実態調査は施設系入所者で居所を変更した方の人数や理由を把握するため。

（委 員）変更の理由を深掘りするためなのか。

（事務局）それぞれの施設の機能が適切かどうかを検討するため。医療的ケアが弱いというのは分析した結果のひとつ。

（委 員）医療と介護で制限があるが、その辺も踏まえてなのか。

（事務局）それぞれのケースで多様だが、現状を把握するためのもの。

（委 員）施設系それぞれの目的があるなかで、医療的ケアの不足一律で括るのはどうか。入所希望と現状のアンバランスもあり違和感を感じるどころ。

（委 員）例えば特養では医療的ケアをしない看取りが目的である。家族を含めた内容の周知・普及啓発が大切ではないか。

（委 員）施設全体で医療的ケアを充実させることは解決にはならないと感じる。

（事務局）ひとつの方向性としてお示しした。皆さまのご意見を反映させていきたい。

(委員) 国の方向性として看取り機能の強化がある。

(委員) 在宅での看取りの実績はどれくらいあるのか。

(事務局) ケアマネージャが担当している利用者数が 1,461 人で、在宅で看取りができたのは 88 人。ここ最近は人数の変動はあまりない。

(委員) 医療的ケアの巾は広く、看取りであってもケースによって違いがある。

(委員) 居所変更の流れが大切で、本人やご家族の希望に沿っているかも重要。

(委員) 施設の機能の目的や能力をみていくことも大切。

(2) 第 9 期計画の振り返り (資料 2) …事務局より資料 2 について説明

(委員) 住民の方への周知で、意外と見られているものに朝来ケーブルテレビがあるので、もっと利活用してもいいのでは。

(事務局) ぜひ活用していきたい。

(委員) 音声告知も利用できると感じる。また、各関係課との連携について記載がなかったがどうか。

(事務局) 音声告知も活用していきたい。各関係機関との取組みについては、第 10 期計画では記載していきたい。

(委員) 第 10 期に向けて考えていきたいことについて、具体的にどうするかを掘り下げていく必要を感じる。

(委員) 成果について、詳細な分析や把握が必要。

(委員) 次回までに示していただきたいところ。

(委員) 支援を担う方への周知は様々な機会を利用してできると感じる。また、外国人材の育成についても課題としてあると感じる。

(事務局) それぞれの立場で周知に協力いただけると助かる。第 10 期ではみんなで一緒に何ができるかを方針としたいところ。

(委員) ふれあい講座の場は周知の機会となると感じる。

(委員) 周知できるチラシの活用や垣根を超えた協力が有効と感じる。

(事務局) ふれあい講師の拡充等取組んでいきたい。課題については検討を進めていきたい。

(3) 国の動向「第 10 期基本指針」の重要論点 (資料 3) …事務局より資料 3 について説明

(委員) 頼れる身寄りがいない課題について、関係機関と連携して取組んでいきたいと感じた。

(事務局) 相談件数でも 21% を占めているので、関係機関と連携しながら取組んでいきたい。

(委員) 経営改善支援とは事業所へ国が支援するのか、また有料老人ホームは増やす方向なのか、インセンティブ交付金とはどのようなものか。

(事務局) 経営改善支援は事業所の加算取得支援等があると思われる。有料老人ホームについては、都市部で囲い込み事業所が問題になっているところがある。

インセンティブ交付金については自治体の取組みに応じた制度となるので、当市としても活用していきたいと考えている。

4. 質疑応答、意見交換…特になし

5. その他

(1) 次回会議日程の協議等

(事務局) 次回は 9 月を予定している。時期が来たら改めて日程を御案内する。

6. 閉 会 …西垣副会長